

◎ 記入例

(複写ですからボールペンで強く記入してください)

委託者コード 区分		顧客番号									
契約者名 山本 太郎		委託者名									
〒 100-0004 千代田区大手町1-1-1											
アプラス預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書 (取) (加)											
取納企業 株式会社 アプラス <small>私は、左記の取納企業から請求された金額を私名義の下記預金口座から預金口座振替によって支払うことのできる預金口座振替規定を確約のうえ依頼します。(ゆうちょ銀行は除く)</small>											
ゆうちょ銀行						ゆうちょ銀行以外の金融機関					
種目コード	種別コード	払込先加入者名	株式会社アプラス			金融機関コード	銀行			支店コード	本店
166	34	払込先口座番号	00920-6-15030			みずほ	信用金庫			東京営業部	支店
通帳記号		通帳番号(右詰でご記入ください)				預金種別	口座番号(右詰でご記入ください)				
1 0		の				1普通	0 1 2 3 4 5 6				
口座名義人		山本 太郎				金融機関お届け印			払込日		
						山本			2. 日休日の場合は翌営業日かつ当日にご入金下さい		

預金口座振替規定(ゆうちょ銀行は除く)

- 貴行に請求書が送付されたときには、私に通知することなく請求書記載金額を預金口座から引き落としの上支払ってください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳、同払戻請求書の提出または小切手の振出しはしません。
- 振替日において、請求書記載金額を預金口座から払い戻すことができる金額(当座貸越を利用できる範囲内の金額を含む)を超えるときは、私に通知することなく、請求書を返却しても差し支えありません。また、指定日以降に再度振替られても異議はございません。
- この契約を解約するときは、私から貴行に書面により届け出ます。なお、この届出がないまま、長期間にわたり会社から請求されない等相当の事由があるときは、特に申出がない限り、貴行はこの契約が終了したもとして、お取扱いいただいても差し支えありません。
- 振替日の変更された場合には、請求書に記載された日をもって処理されても意義ありません。
- 上記会員番号につき別番号の追加利用、または変更があっても本書は有効として扱われて差し支えありません。
- この口座振替依頼書について仮に紛議が生じて、貴行の責めによる場合を除き貴行には迷惑をかけません。

振替日 株式会社アプラスの指定する日(休日の場合は翌営業日)
振替開始日 株式会社アプラスの事務手続き完了次第
不備がありましたら、下記該当欄に○印をつけ至急アプラスにご返送ください。

金融機関使用欄	1. 印鑑相違	6. 預金取引なし	検印	印鑑照合	受付印
	2. 印鑑不鮮明	7. 支店名相違			
	3. 預金種目相違	8. その他			
	4. 口座番号相違	()			
	5. 名義人相違				

不備返送先 〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目17番26号 アプラスビル
株式会社アプラス オペレーションセンター 口座振替係 (ゆうちょ銀行除く)

必ず記載してください。

○印をつける

ゆうちょ銀行をご指定の場合は、通帳記号(中3桁)および通帳番号8桁をご記入ください。

法人の場合は法人名・肩書代表者名を記入願います。

口座の内容は預金通帳で確認の上記入してください。

アプラスよりのお願い
お届出印の相違・重複・不鮮明などの事由で金融機関より戻ってくるケースが多く発生しております。
押印前に、今一度通帳にある御印鑑を御確かめください。

金融機関お届けの印鑑を必ず2箇所押印ください。